

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 10 日現在

機関番号：32638

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26370332

研究課題名(和文) 英国ルネッサンスにおける書籍商の役割についての実証的研究

研究課題名(英文) Stationers in Elizabethan England

研究代表者

富田 爽子 (Tomita, Soko)

拓殖大学・付置研究所・研究員

研究者番号：30197925

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：近世初頭において文化的後進国であった英国は、イタリアルネッサンスの大きな影響を受けて、その文化を開花させた。本研究は、応募者のこれまでの研究をふまえて、1558年から1642年に英国で出版された全ての‘Italian Books’にかかわった出版業者の活動の全容を実証的に明らかにすることを目的としている。それにより、彼らと英国の文人や知識階級、及び、劇作家の関わりを検証し、英文学や英国演劇にどのような影響を与えたかを明らかにしたいと考えている。

平成28年度は、研究の成果を盛り込んだ講演を行い、エリザベス朝の人々の旺盛な異文化吸収意欲やその国民性について説明した。

研究成果の概要(英文)：England, a developing nation in the early modern period, saw an unprecedented flowering of a culture under the great influence of Italian Renaissance. The present study aims to investigate the activities of the stationers in England who dealt with some way or another the publications of the ‘Italian books’ published in England between 1558 and 1642. It intends to demonstrate how these stationers were concerned with the Englishmen of letters, the intelligentsia and the dramatists of the time and also what sort of contributions they have made to English literature and drama. In 2016 the applicant gave a lecture based on the present research, emphasizing the strong enthusiasm of the Elizabethans and the Jacobean to absorb foreign culture from Italy.

研究分野：英文学

キーワード：英文学 英国ルネッサンス イタリア 書籍 出版 翻訳 書誌学

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 応募者は永年、16世紀、17世紀の英国においてイタリア文化がどのようにして英国文化に溶け込み、英国国民のアイデンティティ確立に寄与したか、そして前代未聞の英国演劇の開花を促したかを研究しており、平成18年、エリザベス朝(1558年 - 1603年)の期間の出版を論文に纏めて英国パーミンガム大学シェイクスピア研究所に提出し、高い評価を得て文学博士号を授与された。エリザベス朝におけるイタリアの影響は否定することの出来ない事実であり、前世紀を通じて多くの研究者がさまざまな角度から議論してきた。20世紀初頭に刊行されたMary Augusta Scottの記念碑的著作、*Elizabethan Translations from the Italian* (Boston: Houghton Mifflin, 1916)を皮切りに、Frances Yates, F.O. Matthiessen, Mario Praz, M.J. Levith, Louise George Club, Leo Salingerなど、そのアプローチの方法も多岐にわたる。特にClubの研究以降はイタリアから英国への「影響 (influence)」と捉えられていたものが「邂逅 (encounter)」と認識されるようになった。この認識に基づいて Intertextual studies が批評の中心となり、従来の source studies に取って代わった。Intertextual studies は実り豊かな成果をあげているが、このアプローチは、その一方で扱う素材の厳密な位置づけを今まで以上に必要とする。素材を当時の環境に正しく置いて考察することがますます不可欠となってきている。

応募者は平成21年、上述の博士論文を加筆訂正して、英国 Ashgate 社から出版した。題名は *A Bibliographical Catalogue of Italian Books Printed in England 1558-1603* である。本書は *Reference Reviews* (Vol. 23, Number 8, Emerald Group, 2009) において詳しく紹介され、‘It provides a first-class role model for any future bibliography’ と絶賛された。また、英国 Hull 大学の Dr. Jason Lawrence は ‘It is an impressively exhaustive work of bibliographical scholarship’ と評価している (*Sharp News*, Vol. 19, No.1, 2010)。さらに、イタリアの学術誌 *La Bibliofilia* (Vol. 112, Leo S. Olschki, 2010) においても取り上げられ、Luigi Balsamo 氏が、量的のみならず、質的にも単なる書誌学の域を超えた高いものと書評している。また、Genoa 大学の Professor Anna Giulia Cavagna は *Testimonianze Editoria Cultura Arte* (n.4, 2013) で本書を高く評価して、詳しく紹介している。本テーマについて英国では Exeter 大学から講演を依頼された。

(2) この一連の経緯の中で、続編を編纂する考えが浮かび、1603年から1642年の間に英国

で出版された ‘Italian Books’ の書誌を編纂することとし、平成24年、Ashgate 社から *A Bibliographical Catalogue of Italian Books Printed in England 1603-1642* を出版した。本書も前著と同様、高い評価をいただいている。両著書の執筆から浮かんできたのは、1558年から1642年という、社会的にもまた文化的にも大いに揺れ動き、驚くべき成熟を遂げた英国の書籍商たちの活躍である。書籍商とは印刷業者・出版業者の総称である。これらの人々は、ただ単に本を印刷・販売するだけではなく、文化人として高い見識と信念を持ち、時代の最先端を行く人たちであり、社会を方向づける力さえ持っていた。エリザベス1世の即位から、劇場閉鎖で幕を閉じた英国ルネッサンスの終焉までに応募者の定義する ‘Italian books’ (523作品、重版を含めると861冊)の出版にかかわった英国の書籍商は289名いる。その内実際に印刷に携わった者は128名にのぼることを発見した。ごく一部の業者が ‘Italian books’ の印刷にかかわっていたというのが通説であったが、実証的検証の結果、大多数の書籍商が ‘Italian books’ の出版に参与していたことが判明したことを意味する。これは当時の英国人がいかにイタリアに関心を持っていたかを物語る。本研究においてイタリア文化の受容にあたって重大な役割を果たした書籍商たちの活動の全容を実証的に解明して、今までの研究のまとめとしたいと考える。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は ‘Italian books’ の出版にかかわった上述の289人の書籍商ひとりひとりの出版活動を検証し、その書籍を取り巻く人間模様を提示することである。さまざまな社会的規制や宗教的圧力をかいくぐり、同時に利益追求にも目配りをしてきた書籍商たちが当時の英文学や英国演劇にどのような影響を与えたか、また彼らが全体として英国ルネッサンスの成熟にどのようにかかわったのかを実証的に明らかにする。更にエリザベス朝とそれに続く17世紀の英国とでは、社会も出版をめぐる状況も変わっている。完成させた該当時期の書誌学的記述をふまえて、この二つの時代の違いも検討したい。

## 3. 研究の方法

イタリアの文化と英国の文化の「邂逅」という目に見えない事象に対し、各書物を同時代の視点から捉えて、実証的に書誌学的記述を活用する試みは応募者独自のものであり、他に例を見ない。このアプローチは説得力ある新しい試みとして英国とイタリアの研究者たちに注目されている。本研究ではこのアプローチを各書籍商の ‘Italian books’ 以外の書物にも適用し、 ‘Italian

books' が該当業者の全活動の中でどのような位置づけがなされているかを念頭に置いて考察する。これまでも Thomas Creede や Peter Short 等、時代を代表する印刷業者や出版業者の個別の研究がなされているが、書籍商全体が一つの有機体としてどのように時代とかかわってきたかについての実証的な研究はなされていない。出版書籍業組合記録ばかりでなく、各書物の前付けの検証からも、自らが出版しようとしている書物との関わり合いや、読者への期待などが浮かび上がってくると考える。検証に当たっては全て The British Library, Bodleian Library, Cambridge University Library, The Shakespeare Institute, Folger Shakespeare Library, Harvard University Library, Huntington Library, Biblioteca Nazionale Centrale di Firenze, Die Bayerische Staatsbibliothek などに所蔵されている原本にあたる。情報通信技術の活用も本研究の特色であるが、書誌学においては EEBO (Early English Books On-Line) や ESTC On-Line (English Short Title Catalogue On-Line) なども現物を凌ぐところまではいっていないのが実情である。莫大な時間を要するが、一冊ずつ現物にあたって検証することで、より正確な情報を得ることを基本姿勢とする。

#### 4. 研究成果

研究は概ね順調に進み、その成果をほぼ纏める事が出来た。

##### (1) データベース

1558 年 - 1642 年の間に英国で出版された 'Italian books' (523 作品、重版を含めると 861 冊) の出版に関わった出版業者 289 名を抽出し、データベースを完成させた。データベースにはこの 861 冊について次の事項を含む

出版年  
書物の版の種類 (初版、再版、刷の種類等)  
著者  
翻訳者  
編集者  
印刷者  
発行者  
出資者  
書籍販売者  
献呈者  
献辞詩の作者名  
ジャンル  
所蔵図書館と shelfmark  
出版登録  
折記号  
仕立て  
イタリアの原典についての詳細  
書誌学的記述の記載番号

紙面の関係でデータベースに収録された印

刷業者全員の名前とその活動の詳細をすべて掲載することは不可能なので、特に目立って沢山の 'Italian books' を手がけた印刷業者をアルファベット順に以下に列挙する。名前の後の数字は手がけた書物の STC 番号である。

Alsop, Bernard, printer (1612-52?): 1021, 1705, 1705.5, 1706, 6376, 12356, 17284, 17328, 19174a, 21603, 21604, 22382

Barker, Robert, printer (1593-1634): 604, 3104, 6996, 6998, 14400, 14401, 14401.5, 14402, 14403, 19482, 21761

Bill, John 1, bookseller and printer (1604-30): 1153, 1154, 11685, 18421, 21758, 21759, 21760, 21761, 21762, 21764, 21766, 23699, 26121a.3, 4745, 6994, 6995.5, 6996, 6998, 7002, 7003, 7004, 7004.5, 7005, 7006, 7174

Butter, Nathaniel, bookseller (1604-64): 4580, 4580.5, 4581, 5045, 5796, 11091, 12356, 12357, 12640.5, 17183, 17916.3, 17916.5, 24524, 26122, 26122.5

Byneman, Henry, bookseller and printer (1566-83): 297, 302, 3180, 3181, 3419.7, 4699, 4783, 5647, 7241.5, 10796, 11476, 11635, 11636, 11710, 11927, 12464, 12465, 14092, 14093, 14094, 14094.5, 18602, 19124, 19139, 22990, 22991, 24324

Charlewood, John, bookseller (1557?-93): 1356.4, 3179, 3934, 3935, 3936, 3937, 3938, 3939, 3940, 5577, 12307, 13480.7, 19447, 21292a, 23702.5, 24664, 25118.5, 25347

Denham, Henry, printer (1563-90?): 306, 309, 310, 884, 3053, 3154, 4779, 5797, 12366, 19121, 19150, 24076, 24076.3, 24076.7, 24077, 24077a, 24077.5, 24669,

East, Thomas, printer (1567-1608): 745.5, 1586, 4253, 4253.3, 4253.7, 4254, 4791, 6040, 6131, 6268, 7460, 7642, 10881, 11477, 11641, 12423, 17166, 17997, 18116, 18117, 18118, 18119, 18123, 18127, 18128, 18129, 18769, 24722, 24723, 25119, 25205, 25619, 25619.3, 25619.5, 26094, 26094.5, 26095

Eld, George, printer (1604-24): 4103, 5977, 12135, 14688, 14689, 18296, 20997, 21510, 22434, 26121a.7

Eliot's Court Press, syndicate of printers (1513-1640): 1703, 1704, 3185, 4745, 12357, 14405, 17944, 19812.5, 21759, 21766, 22553, 23699

Field, Richard, printer (1588-1624): 746, 747, 3103, 3928, 3958, 4786, 4787, 6197, 10553, 11412, 12459, 12460, 15311, 16890, 17280, 17281, 17281.3, 17281.5, 17282, 19810, 20067, 20068, 20069, 24479, 24482, 24483, 24484, 24485, 24487

Flesher, Miles, printer (1617-64): 2062.5, 5983, 6198, 7175, 12640.5, 14689.3, 19452, 19453, 19453.3, 20134, 21757a

Islip, Adam, printer (1591-1639): 403.9, 1659, 1660, 1661, 3160, 3355, 3397, 3403, 3947 (7499), 4182, 4691, 10433, 13890, 13893,

13894, 13895  
Kingston, John, printer (1551-84): 199, 293, 298, 300, 303, 3939, 10879, 12366, 13480.5, 17164, 17286, 17849, 17850, 19121, 20996, 20996.3, 21002, 22980, 22981, 24667  
Marsh, Thomas, printer (1554-87?): 1356.1, 1356.3, 3810, 4607, 4608, 6215, 7641, 15192, 17823, 19122, 19123, 19125, 19138.5, 19140, 19141, 19142, 19475, 21357, 21796, 22982, 22982.3, 22982.5, 22982.7, 22983  
Middleton, Henry, printer (1567-87): 4738, 10794, 10795, 11477, 11478, 11479, 11480, 11635, 19151, 24669, 24722, 25348  
Okes, Nicholas, printer (1606-45): 744, 1557, 1558, 4580, 4611, 6238, 6374, 14283, 17916.5, 19174, 21594, 21757, 24100, 24101, 24102, 24103  
Robinson, Robert, printer (1585-97): 1356.9, 4579, 11481, 13868, 14095, 17288, 19143, 19152, 21499, 22984, 22984.1, 22984.3, 23685, 25118.6, 25118.8, 25764  
Snodham, Thomas, printer (1603-25): 1234, 1895, 2741.5, 4255, 4580.5, 7006, 7099, 7462, 11826, 18120, 22235, 24593, 24624, 25023, 25619a  
Stationers' Company, Company of booksellers, bookbinders, printers and others connected with the stationers' crafts (1565-1640): 172.3, 172.4, 172.5, 172.6, 172.7, 172.8, 173, 173.3, 3157, 11711, 17281.5, 17282, 17283, 17283.3, 17283.5, 17284, 19146, 19147, 22984.5, 22984.6, 22984.7, 22984.9, 22985, 22989  
Vautrollier, Thomas 1, French refugee bookseller, bookbinder, and printer (1563-87): 6735, 11730, 11737, 12458, 15469, 15470, 17278.8, 17278.9, 17279, 17279.5, 17287, 17823, 20065, 24668,  
Wolfe, John, bookseller and printer (1579-1601): 403.3, 964, 1979.5, 4781, 4907, 11283, 11693, 11728.8, 11729, 11731, 11733, 11734.3, 11734.7, 11735.3, 11736, 11738, 11739, 11740, 12004, 12295, 12354, 12414, 15414.6, 16805, 17158, 17159, 17161, 17163, 17167, 17943, 19769.7, 19911, 19911.5, 19912, 19913, 19914, 20118, 21291, 21293, 21788, 23246, 23649, 23700, 23701, 23702, 24480, 24486, 24487.5, 25118a, 25118.4

## (2) 書誌学的記述

上記のデータをもとにして、書誌学的記述を試みた。その内容は以下のとおりである。

### 書誌学的記述の記載番号

‘Italian books’と見なされた上記の 861 冊について、1558 年～1642 年の間で初めて出版された版を、原則として出版の年代順に列挙した。個々の作品に記載番号を与え、再版、再刷にはその旨記載したひとつの作品について別人による複数の英訳が出版されている場合は、同一記載番号で対応したが、翻訳言語が異なる場合には(例:ラテン語訳)、独立した記載番号を与えた。各ページにはこの記載番号と *The Short Title Catalogue (STC)* に基づいた出版年の見出しを

つけてある。

### 簡略書名

スペースの関係から、題名を全て記述することは出来ないの、原則として *STC* に記載されている題名の最初の数語を簡略書名として採用している。しかしキーワードが含まれていない場合は、キーワードを優先して採用した。スペリングは原則として *STC* の綴りを採用したが、i, j, u, v は現代綴りに直した。冠詞、代名詞、接続詞を除いて、最初の文字は大文字とした。

### ジャンル

ジャンルは特に重視した。英国の読者の傾向を探るのに重要と考えたからである。各作品のジャンルはカタログの各項目の最上段に、簡略書名に並べて記載してある。ジャンルというのはある意味では根拠のない分類であり、全面的な是認を得ることは難しい。本研究では調査対象の書物を大きく 2 つのジャンルに分けた。ひとつは抽象的思考に関するもの(例:文学、戯曲など)、もうひとつはより生活に密着した実用的なもの(例:言語、ハンドブック、マニュアル、旅行記、歴史書と政治、法律、宗教など)である。また、外国語(例:ラテン語、イタリア語など)で出版された書物も本カタログに含めたが、それらの本も上記の 2 つのジャンルに再分類してある。

### 出版年

書物の表紙に出版年が印刷されていない場合は、出版年を[ ] で囲って区別した。

### 版の特定

カタログでは該当書が初版であるか、再版、または再刷であるかの区別を明記した。版の扱いは基本的には *STC* に従っているが、作品が Part 1, Part 2, Part 3 のように、先に出版された内容と重複していない場合は、別の本として扱った。

### STC 番号

*STC* の第 2 版に拠る。

### 所蔵場所

カタログ利用者の便宜のため、調査した書物が所蔵されている図書館名と、蔵書記号を記載した。図書館名の略語は *STC* の第 2 版に拠った。

### 印刷者・出版社名

記載は印刷者、出版者の順である。つづりは *STC* のスペリングを採用した。出版地はことわりがない限り、ロンドンである。

### 表紙の転写

表紙を転写するにあたっては Philip Gaskell の *A New Introduction to Bibliography* (Oxford: Clarendon, 1972, 1985) で述べられている翻刻の規則にのっとり、可能な限り実物に忠実に移した。表紙に印刷されている出版事項も題名と共にオリジナルのつづりと書体で記載した。そのほか扉の飾りや枠などできるだけ詳しく記述してある。

### 書籍の構造式

書物の構造を示すために、フォーマット及び照合を記載した。フォーマットは 4°, 8° のように数字

で記載し、サイズと折り丁を記載した。構造式には落丁や変則的な折り丁も記載してある。折り記号が欠けており、それが何かが明らかに推測できる場合はイタリックで記載して示した。ページ数や折り丁の印字の間違いも記載したが、10箇所以上の間違いがある場合は‘irregularly misprinting’あるいは‘irregularly signed’と表記してある。

#### 書籍出版組合の登録

Edward Arber の *A Transcript of the Registers of the Company of Stationers of London: 1554-1640*, 5 vols (London: Privately printed, 1875-94) に拠って、記載した。

#### 書物の内容

書物の内容については折り丁をつけて、簡単に記載してある。詳細の程度は作品によって多少異なる。一貫性よりも、文化交流の観点から見た各書物の重要性に鑑みて判断した。つづりに関しては、極力正確を期したが、表紙の転写とは異なり、書体などは統一した。しかし本書の記述は Gaskell より詳細に及んでいるため、原文からの引用は鉤括弧で区別している。

#### 書物のサイズ

研究者が調査した書物の紙葉の大きさは cm で縦×横で記載してある。当時は、1冊ごとに、端を切りそろえるため、本によってサイズが異なることを念頭に置く必要がある。

#### 注釈

各書物に以下の注釈をつけた。

- a. 出版情報を中心とした該当書物の簡単な説明。
- b. 該当書籍が‘Italian book’として本カタログに収められている理由を説明する。
- c. 献呈、推薦、編集、翻訳など該当書籍を出版するにあたって関与が認められる人物について説明する。
- d. 該当書籍の後の版に関する情報について説明してある。刷に関しては、簡単に言及はしてあるが、版と同等には扱っていない。
- e. 該当書籍についてのその他の情報を記載した。各部署に用いられている書体、該当書籍の所有者など、できるだけ詳しく記述してある。

#### (3) カタログ作成にあつての留意事項

書誌学的記述では、*STC* 及び *English Short Title Catalogue (ESTC)* を十分に活用し、正確を期した。従って全ての版に *STC* 番号をつけてある。*STC* と *ESTC* の記載が異なる場合には、断りのない限り *ESTC* を優先させた。更に最新の情報を組み入れるため、*ESTC Online* も参照した。同様の理由で、*Grove Music*, *ODNB Online*, 英国の大学図書館総合目録 *Copac*, *Censimento nazionale delle edizioni italiane del XVI secolo* など、その他のデータベースも参照した。

カタログ作成に当たっては *Early English Books Online (EEBO)* やマイクロフィルム(*UMI*)などの代用品も用いたが、可能な限り現物に当たって調査することを重視した。幸いなことに大英図書館にはイタリア関係の書物の多くが所蔵されているので、複数の図書館に所蔵されている場合は、大英図書館の書物を本カタログの基本図書とした。正確さと読者の便宜を図るため、所蔵図書館の図書記号も記載してある。調査を通じて痛感したのは、情報技術の進歩にもかかわらず、現段階では技術は未だ現物の書物に取って代わるには至っていない。印刷や製本過程に時折発生する紙葉の誤挿入などはやはり人の手で処理せざるを得ない。更に実際に現物を調べることで、手書きの書き込み、出版者の意匠標章、サイズ、紙質、装丁、活字などについて多くの情報を得ることが出来た。本カタログはさらに編集・校正を重ねて、出版したいと考えている。

#### < 引用文献 >

- Arber, Edward, *A Transcript of the Registers of the Company of Stationers of London: 1554-1640*. 5 vols (London: Privately printed, 1875-94)
- Balsamo, Luigi, *La Bibliofilia* (Vol. 112, Leo S. Olschki, 2010)
- Cavagna, Anna Giulia, *Testimonianze Editoria Cultura Arte* (n.4, 2013)
- Club, Louise George, *Italian drama in Shakespeare's time* (New Haven and London: Yale University Press, 1989)
- Duckett, Bob, *Reference Reviews*, Vol. 23, Number 8, Emerald Group, 2009
- Gaskell, Philip, *A New Introduction to Bibliography* (Oxford: Clarendon Press, 11985)
- Lawrence, Jason, *Sharp News*, Vol. 19, No.1, (2010)
- Levith, M.J., *Shakespeare's Italian settings and plays* (Basingstock: Macmillan, 1987; repr. 1989)
- Matthiessen, F.O., *Translation: An Elizabethan Art* (Cambridge, MA: Harvard University Press, 1931; repr. New York: Octagon, 1965)
- Praz, Mario, *The Flaming Heart: Essays on Crashaw, Machiavelli, and Other Studies of the Relations between Italian and English Literature from Chaucer to T.S. Eliot* (New York: Doubleday, [1958]; repr. Norton, [1973])
- Salinger, Leo, *Shakespeare and the Traditions of Comedy* (London: Cambridge Univeristy Press, 1974)
- Scott, Mary Augusta, *Elizabethan Translations from the Italian* (Boston: Houghton Mifflin, 1916)
- Tomita, Soko, *A Bibliographical Catalogue of Italian Books Printed in England 1558-1604* (Farnham: Ashgate, 2009)
- Tomita, Soko & Masahiko Tomita, *A*

*Bibliographical Catalogue of Italian Books  
Printed in England 1603-1642* (Farnham:  
Ashgate, 2014)

Yates, Amelia Frances, John Florio: *The Life of  
an Italian in Shakespeare's England*  
(Cambridge: Cambridge University Press,  
1934)

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に  
は下線)

[講演] (計3件)

富田爽子、青山フォーラム、「イギリス人た  
ちの旺盛な異文化吸収意欲、国民性」  
2016、東京

富田爽子、拓殖大学、「シェイクスピアの時  
代 英国は後進国？」 2015、東京

富田爽子、東京外国語大学、「異文化への  
あこがれを語る」 2015、東京

[図書] (計1点)

富田爽子 他、*A Bibliographical Catalogue of  
Italian Books Printed in England 1603-1642*  
(Farnham: Ashgate, 2014) 578 ページ

## 6. 研究組織

(1)研究代表者

富田 爽子 (TOMITA SOKO)

拓殖大学・付置研究所・研究員

研究者番号：30197925